

2021年度 日本工学院専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制											
アニメ制作実習 5 A											
対象	3 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	山内尚樹			実務経験	有	職種	アニメーター				
授業概要											
この授業での履修目的はアニメーション作画部門・原画職において、必要な技術と知識を習得することを目的とする。 まず第一に原画制作の基本であるカメラワーク・レイアウト（構成）技術を習得する。 第二にアニメーション作画職として就職・業務委託契約としてデビューするための基礎的な画力を身に着ける。											
到達目標											
原画作業においてカットに求められる必要なカメラワーク指示ができ、2次元フレームに透視図法を用いて適切なレイアウトが描けるようになる。 それらを反映した各自の就職用作品集（ポートフォリオ）の完成と就職内定をとる。											
授業方法											
アニメーターとして求められる標準技術習得を目的とした演出力・作画能力の向上を図るため、レイアウト（画面構成）を中心にカメラワークや必要な知識を学ぶ。											
成績評価方法											
試験・課題 50％ 試験と課題を総合的に評価 平常点 50％ 積極的な授業参加度、授業態度によって評価											
履修上の注意											
毎回回の課題が用意されるため、遅刻・欠席をしないよう心掛ける。授業内容が課題・添削・提出のため極力自身から積極的に先生へ質問・提出をするよう心掛けること。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
毎回授業課題を配布。必要に応じて映像資料も使用。											
回数	授業計画										
第1回	前年度の習得技術確認・疑問点を鮮明化し、就職指導する										
第2回	過去の優れた作品から技術・演出技法について考察する										
第3回	1点透視図法の説明・実技										
第4回	2点透視図法の説明・実技										
第5回	3点透視図法の説明・実技										
第6回	透視図法の応用・課題提出										

2021年度 日本工学院専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制	
アニメ制作実習 5 A	
第7回	広角レンズによる演出技法
第8回	望遠レンズによる演出技法
第9回	被写界深度について
第10回	レンズ効果について応用・課題提出
第11回	タイムシートの説明（撮影指示・特殊効果） 1
第12回	タイムシートの説明（撮影指示・特殊効果） 2
第13回	タイムシートの説明（撮影指示・特殊効果） 3・課題提出
第14回	アニメ演出から見る芝居と撮影によるスピード表現 1
第15回	アニメ演出から見る芝居と撮影によるスピード表現 2・課題提出